

JA しまね ちひより



2025
9

September
Vol.114

Shimane
Biyori



みーつけた
しまねのファーマーズ
Shimane farmers
寺内 洋子さん
坂田 マチ子さん
沖田 久美子さん
鳥根おおち地区本部

来月の
外勤日は 10月15日(水)~17日(金)

特集

令和の米騒動から見る農業の今



YouTube



Instagram



LINE



SNSで旬な情報を
投稿しています



©よい食P



JALしまね 出雲地区本部版

J Aしまね島根おち女性部

副部長 寺内 洋子さん(74歳)

坂田マチ子さん(76歳)

沖田久美子さん(64歳)

「幸せの4K」のケイトウ栽培を開始

島根県の中央から南部にかけて美しい里山が続く江津市(桜江町)と邑智郡。この地で、鮮やかなケイトウの花を咲かせ、地域に活気をもたらししているのがJ Aしまね島根おち女性部の皆さんです。

以前から地区本部管内の各地域で、女性部はそれぞれの活動を行っていました。「農業を通じて地域に貢献したい」という思いから、活動の基軸を営農に一本化。当初は、キュウリやナスといった野菜作りに取り組んでいましたが、部員の高齢化により重い野菜の収穫や出荷の作業が辛くなり、さらにサルやイノシシによる鳥獣被害に悩まされ、離農する部員が増えていました。

そんななか、2012年にJ Aの営農指導員からケイトウ栽培を提案されました。ケイトウ栽培は「幸せの4K」といって、花が「きれい」で、サルが「こない」、収穫作業が「かるい」、そして「かせる」という4つのKが魅力です。女性にとって取り組み



7月下旬に行われた目合わせ会では、出荷する際の注意事項や規格などについて確認

今月は島根おち地区本部。管内でケイトウ栽培に取り組んでいるJ Aしまね島根おち女性部の副部長・寺内洋子さん、坂田マチ子さん、沖田久美子さんにお話を伺いました。



やすいことが決め手となり、新たに挑戦することになりました。当初は全員が初心者。営農指導員が畑の作り方から栽培方法、苗の植え方まで丁寧に指導し、なんとか出荷できる状態まで育てることができました。寺内さんは「最初はおんぶに抱っこ」で、一から教えてもらいました」と、当時を振り返ります。

島根おちのケイトウは
高品質で人気

島根おちのケイトウは、県内でも早くからブランド化が進み、栽培を始めて2、3年目には「島根おちの花は良い」と県外の市場から高い評価を得てきました。これは、

J Aの熱心な指導と、それに真摯に応えようとする部員の皆さんの二人三脚の努力によるものと言えます。

毎年出荷シーズン直前に行われる「目合わせ会」は、生産者



現地指導会の様子。徹底した巡回指導はブランド化が進んだ理由のひとつ



ケイトウの生育状況を確認する沖田さん

にとって貴重な機会。広島から市場の担当者に来てもらい、産地ごとの特徴や、市場での需要についての情報を共有してもらいます。現在、市場での取り扱いは徳島、福岡、島根の3つの産地が中心であり、そのなかでも、島根おちのケイトウは品質が良く、花屋にとっても人気があると説明がありました。市場のニーズは主力の赤いケイトウに加え、オレンジやピンクも高くなっているそうです。しかし、ピンクは茎が平たくなりやすいなど難しい点も多いといえます。それでも、市場の声に応えようと、皆さんは品質を保ちながら、新たな品種の栽培にも挑戦し続けています。

試行錯誤の連続！

高品質を支える細かな気づかい

「仲間がいるから続けられる」と、女性部ならではの温かい協力体制がケイトウ栽培を支えています。栽培は、それぞれの家の畑で行われますが、共同での種まきや現地指導会、出荷目合わせ会などを行い、環境や条件は違えど、互いに情報交換したり、勉強会をしたりすることで、課題を乗り越えてきました。ケイトウを育てる上で、最も苦労するのが天候です。特に今年は記録的な猛暑。畑を覆うマルチが焼けないよう、寒冷紗(日よけ)をかけるなど、細かな対策が欠かせません。「花の咲く時期がそろわない時や、出荷できる品質にならない時は、やは

り辛いですね」と坂田さん。また、寺内さんも、「最初は同じ畑で連作すると良くないと言われ、場所を変えてみたところ、なぜか花が大きくなりすぎて台風で倒れてしまった」という苦い経験もありました。それでも、JAの営農指導員に相談したり、試行錯誤を重ねたりすることで、問題を乗り越えながら、今年で14年目を迎えます。

花の美しさに魅せられ、地域を彩る喜び

ケイトウ栽培を続ける理由を尋ねると「花の色に魅せられて。それだけです」と寺内さんは笑顔で語ります。坂田さんも「花が咲いたら、しばらく見ていられるんです。腰が痛くても、花を見ると癒されますね」と話し、栽培や収穫の大変さがありながらも、長年続けてきたことに誇りを感じています。

収穫したケイトウは、出荷の他に、お盆の時期に近所の方におすそ分けしたり、公民館に寄贈したりすることもあるそう。寺内さんは「お墓にどうぞ」と渡すと、皆さんが生けてくれるのが本当に嬉しくて」と、自分の育てた花で地域を彩ることに喜びを感じています。

品質を守り、未来へつなぐ

現在、定期的に出荷を行う部員は7、8人ほどに減少。しかしJAは地域の農業団体である島根おちの花き部会「しきの会」



ケイトウ栽培を続ける理由を笑顔で話す寺内さん

プチっと情報!

島根おちのケイトウ

花色がきれいで長く楽しむことができるケイトウ。島根おち地区本部では、試験的に植え付け時期をずらし、お彼岸に向けて出荷することに挑戦しているそう。まだまだ出荷が続きますのでぜひ手にとってみてくださいね🌸



ケイトウが咲き揃う沖田さんの圃場

や個人の生産者にも声をかけ、生産を続けられるよう努力を重ねています。目標は現状維持。「体調が悪いと思ったら無理しないこと」と語る寺内さん。現状を維持していきにはまず、体を大切に、無理せず農業を続けることが何よりも重要だといえます。高齢化の課題は大きいものの、邑智郡邑南町では「アグサボ隊」という県外から農業研修生を受け入れるなど、若い世代への引き継ぎも行われています。

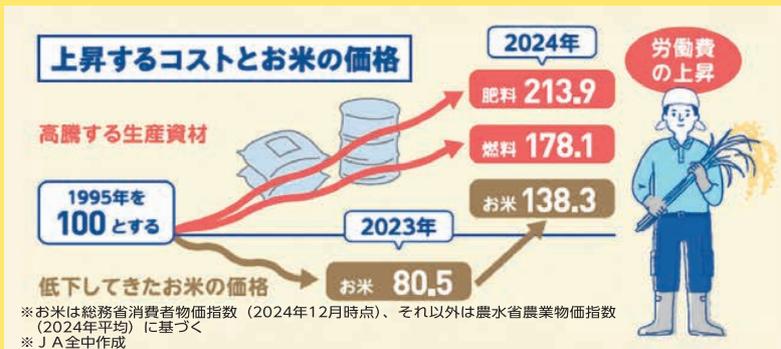
島根おちのケイトウは、広島や岡山、そして島根の市場へと出荷されています。これからも、島根おち女性部が大切に育てた美しいケイトウの花々が、地域の人はもちろん、その花を手にした人々の心を彩り、喜びを届けてくれることでしょう。

騒動から見る

背景② 生産コストの上昇

農畜産物の生産に必要な肥料や燃料などの生産資材が高騰し、そのまま高止まりしています。一方で、お米をはじめとした農畜産物の価格は、その上昇したコストを十分に反映させることができていませんでした。農業現場はかつてない危機的な状況に直面し、将来にわたって安定的な食料生産ができない状況になりつつあります。

の今



令和の米騒動。お米のと見込まれています。が直面している厳しいですか？今月号ではいきます。

生産コストを反映した「適正な価格形成」に最も必要なことは？

今年6月に「食料システム法」が制定されるなど、取引価格への生産コスト反映に向け動きが出始めています。しかし、農業は食べてもらえる消費者の皆さんがいてこそ成り立つ産業です。価格を上げることで消費者離れが進んでしまっては意味がありません。そのため、適正な価格形成には消費者の皆さんの理解が最も欠かせないものなのです。

そのためにも、JAしまねは食の未来や島根の農業を守っていくため、「食」と「農」に関する理解醸成や行動変容を促す活動に引き続き取り組んでまいります。

このままでは農業を続けられないよ



お互いにとって理解のある価格



適正な価格

毎日食べるものだから安い方がいいなあ



JAしまねの取り組み

JAしまねではこういった背景から、生産資材コスト低減対策、異常気象に対応した営農指導などさまざまなことに取り組んでいます。

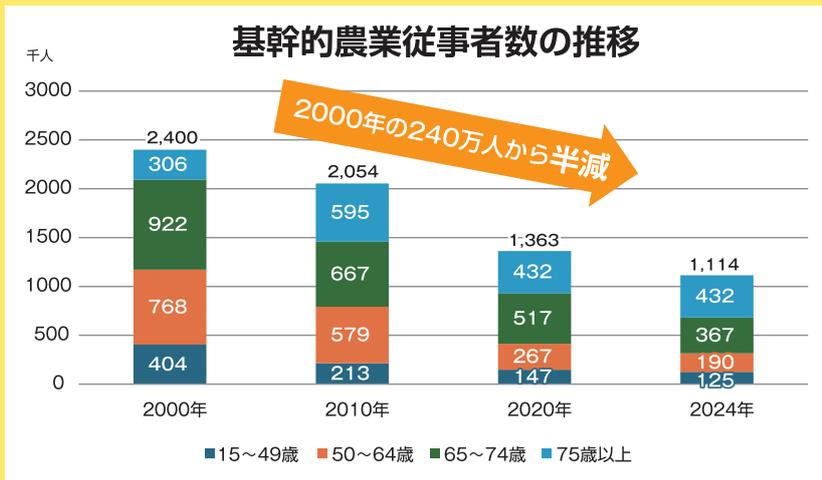
また、今回の令和の米騒動では、全国的な米の供給不足に加え、JAグループへの米集荷率が下がったことで取引先卸売業者などへの安定供給が難しい状況に陥りました。安定供給は価格の安定に直結するため、JAしまねでは今まで以上に役職員が一丸となった集荷運動に取り組み、安定供給を目指しています。



令和の米 農業

背景 1 農業生産力の弱体化

農業を主な仕事とする基幹的農業従事者の数は約20年で半減しており、2000年の240万人から2024年は約111万人にまで減少。また、高齢化が進み、65歳以上は79万9千人と全体の71.7%を占め、平均年齢は69.2歳となっています。これらの理由から、農地の維持などが難しくなり、耕作面積は1961年のピーク時の609万ヘクタールから約182万ヘクタールも減少しています。

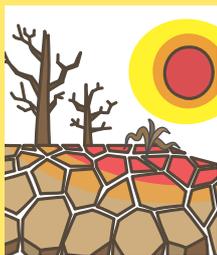


出典：農林水産省「令和6年度 食料・農業・農村白書 概要」
 (https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r6/zenbun.html#tokusyuu2) をもとに作成
 出典：農林水産省「農林水産基本データ集」(https://www.maff.go.jp/j/tokei/sihyo/index.html) をもとに作成



昨年、日本を揺るがした
価格問題はしばらく続く
その背景には日本の農業
状況があるのはご存知
その背景を解説して

背景 3 多発する自然災害や異常気象



その年の天候によって価格が左右されやすい農畜産物。近年、自然災害の件数・被害額は増加傾向にあります。また、猛暑や豪雨などの異常気象、温暖化による害虫の増加などの影響で農作物がうまく育たず収穫量が大きく減ってしまいます。特に今年は渇水や異常な高温が農作物に大きな影響を与えています。



10月、11月は国消国産月間

「国産」を食べて、農業を応援しよう! JA直売所キャンペーン2025



JA直売所を訪れて47都道府県とっておきの3000円相当の農畜産物・加工品を当てよう! 合計14,100名様に当たります!

期間：2025年10月1日～11月末日

島根県ではJA直売所やAコープなど合計42店舗がキャンペーンに参加しています!

ぜひこの機会にご利用ください😊💫

厳しい状況にある農業現場にとって、皆さんが国産・島根県産の農畜産物を選んで食べていただくことが何よりも応援になります🔥

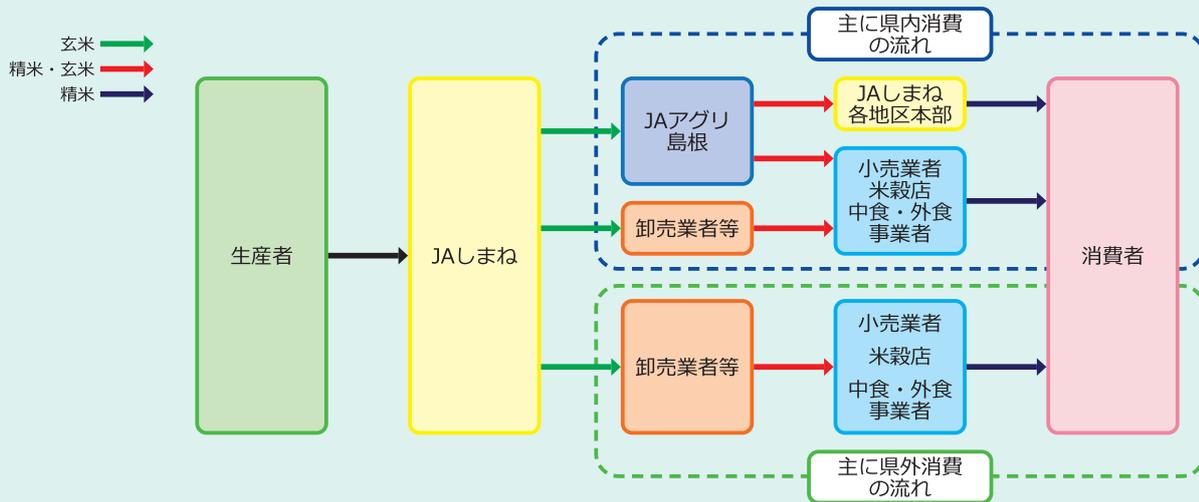
賞品については特設サイトをご覧ください。JA直売所の検索もできます。
 ※特設サイトは9月16日からご覧いただけます。



お米の流通について

島根米の販売の流れについては、主にJAアグリ島根、県内卸売業者・加工業者を通しての県内販売と、県外の卸売業者などを通しての県外販売の2通りがあります。

JAしまねは生産者の皆様からお米を集荷し、主にJAしまねからの販売先であるJAアグリ島根・卸売業者において玄米から精米にしてその後、消費者へ販売されます。



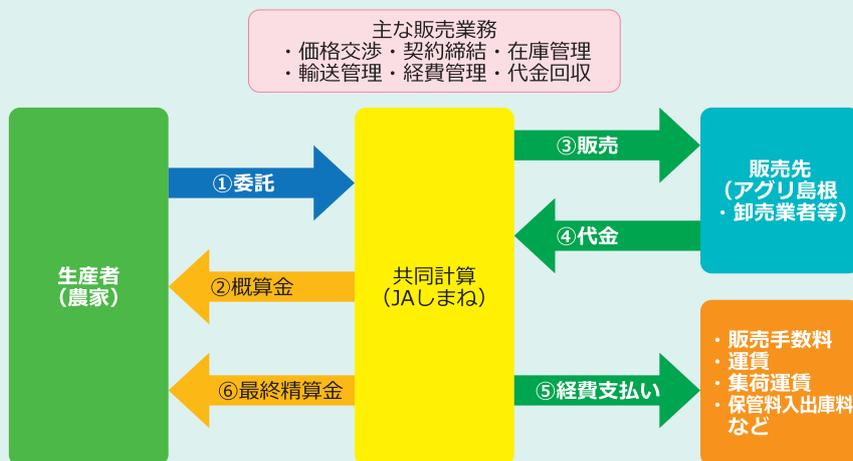
JAしまねの行っている委託販売・共同計算とは？

JAしまねの米の取扱いは、多くが委託販売・共同計算の手法をとっています。

委託販売は、受託者（JA）が委託者（農家）に代わって、価格交渉から代金回収までの販売業務を行い、得られる代金を委託者に精算する仕組みです。

共同計算は、JAが生産者から販売委託された米穀について、共同で一年以上の期間を通じて販売するため時期別に変動する価格や経費をプールした上で、全体の集荷数量で割り返して計算することで収益を公平に分配し、生産者間の手取り額を平準化する仕組みです。メリットはJAが高く販売できた場合に追加金や、販売後の最終精算金を生産者へ精算できる点ですが、最終精算金のお支払いはすべての米が販売された後に行うため、翌年の10月以降となります。

※追加金については状況によってはお支払いできない場合があります。



販売手数料の改正について

JAしまねの米穀事業を継続し、島根米の販売力を高めるために令和7年産より「うるち米、もち米、酒造好適米」の販売手数料を490円/60kg（税別）から620円/60kg（税別）へ改正いたします。

J Aしまねの竹下克美組合長ら本店常勤理事は、地域の担い手・大型農業法人・集落営農組織等を訪問し、今後のJ A運営に反映させるため各所で組合員の皆さまの貴重なご意見・ご要望を伺っています。

農業の現場から声をつなぐ

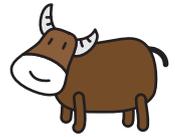
～ふれあい訪問記～



今回の
訪問先

J Aしまね雲南地区本部管内

●三井野原花卉協議会 ●農事組合法人中国牧場



同協議会の白川英夫さんのハウスを視察



同法人の牛舎を視察



三井野原花卉協議会は、現在7人でトルコギキョウを中心に花を生産。同協議会の花卉はその品質の良さから、関西や中国地方、県内など多くの市場から出荷を求められています。なかでもトルコギキョウの出荷量・販売額は県内一を誇っています。同協議会の大西勝視会長は、同協議会の概要や物流問題、担い手不足、従業員の高齢化など今後の課題や現状を説明。特に花は鮮度の良さが単価に直結するため、出荷の翌日に市場に届く運送便の確保が重要ですが、近年の物流の不安定さで確保が難しく安心して生産できない状況ではないことを伝えました。同協議会の川西邦夫さんは「以前のように」

Aしまねが一本化して運送便を立ててほしい。また、価格転嫁ができるのは都市部の市場への出荷のため、しつかり情報交換などを行い物流が途切れないように整備をお願いしたい」と要望しました。農事組合法人中国牧場は、現在牛舎10棟で肥育牛1,300頭、繁殖牛250頭を飼養した一貫生産の経営を行っています。また、新規の島根県有種雄牛産子の現場後代検定にも協力しています。将来的に畜産経営を目指す若い担い手も従業員として積極的に受け入れており、担い手育成の役割を果たしています。同法人の町谷修二代表は当J Aの肥育事業撤退に伴う事業承継について「関係者全員

で『奥出雲和牛』ブランドを守っていくんだ、より良くしていくんだという意識で取り組むが、J Aもあとは任せましたよではなく、一緒に汗をかく必要がある」と思いを伝えました。当J Aの竹下克美組合長は「いただいた意見を真摯に受け止め、J Aとして出来ることは全力で取り組んでいく。肥育センターの事業承継にはさまざまな課題があるが、ひとつひとつ確実に取り組んでいかないとけない」と応えました。また同日、地区本部運営委員会を開催し、新たな運営体制に関する意見交換も行いました。



令和7年度水稲生産者大会を開催

島根県と島根県農業振興協会、JAしまねは7月15日、出雲市で「環境に優しい持続可能な農業生産の実現に向けて」をテーマに令和7年度水稲生産者大会を開きました。生産者や県、JAの担当者ら約220人が参加しました。

基調講演では、滋賀県みらいの農業振興課の柳澤勇介主査が「滋賀県における環境こだわり農業の取組について」と題し、琵琶湖の水質改善から始まった「環境こだわり農産物認証制度」の取り組みや制度がもたらした環境への効果などについて講演しました。

また、島根県と島根県農業技術センター、当JAから環境保全型農業の取り組み報告や土づくり、イネカメムシ、米の情勢・需給などについて情報提供。そのうち、同センターは、高温条件下での品質確保の対策として、出穂期前の追肥や水管理、適期の刈り取りがポイントだと伝えました。

当JAの竹下克美組合長は「生産者の皆さまが丹精込めて栽培されたお米を1袋でも多くJAへ出荷いただきたい」と呼びかけました。



基調講演に耳を傾ける参加者ら



全日本ホルスタイン共進会に向けて指導会を開催！

県内の酪農家で組織するシマネ・ホルスタイン・クラブは、10月25、26日に北海道で開催される第16回全日本ホルスタイン共進会に向け、6月から定期的に、島根県立出雲農林高校の生徒を対象に指導会を開いています。

同共進会は、各都道府県から乳牛が集まる全国規模の品評会で、おおむね5年に1度の開催のため「乳牛のオリンピックピック」と呼ばれています。島根県からは3頭出品予定で、そのうち「高校特別枠」に同校から1頭出品します。

第1回目の指導会では、北海道からオールジャパンプリーダーズサービス株式会社の永田琢也さんを講師に招き、毛刈りの指導を行いました。永田さんは乳牛の背中の凹凸を確認した上でどれだけ毛を刈るか決めることや毛の整え方、共進会当日まで牛を引く練習を重ねることを生徒らに伝えました。

毛刈りの指導を受けた生徒は「毛の流れと逆向きにバリカンを入れ、ムラなく毛を刈ることが難しかった。初めて毛刈りを体験したが、アドバイス通りにできたと思う」と話しました。



永田さんから毛の刈り方を学ぶ生徒ら



令和7年度しまね夏の花展示会を開催

島根県花き生産者協議会とJAしまねは7月26、27日の2日間、出雲市のゆめタウン出雲で令和7年度しまね夏の花展示会を開きました。夏に生産するトルコギキョウやアスター、ケイトウ、菊など106点を展示。多くの方が訪れ、季節の色鮮やかな花を楽しみました。

初日は子どもたちに花に親しみを持ってもらおうとする花育活動の一環で、親子ミニブーケ作り体験教室を開催。子どもたちは好みの花を選び、スタッフから作り方を教わりながらブーケを完成させ笑顔を見せました。

また、花き生産に消費者目線を取り入れようと、来場者がお気に入りの花に投票するお花の人気投票を両日実施。投票者には先着300人にトルコギキョウやバラの花束をプレゼントしました。

投票をした来場者は「『ブルーフィズ』というトルコギキョウの花色がとても綺麗だった」と話しました。投票結果は、10月に開催する花のイベント「フラワーインしまね」で発表する予定です。



ミニブーケを作るため花を選ぶ親子連れ（右）



令和7年度島根県JA青年大会を開催 各部最優秀賞に出雲・正木さんと斐川・坪内さん

島根県農協青年組織協議会は7月31日、浜田市の島根県立大学で令和7年度島根県JA青年大会を開きました。青年の主張と組織活動実績発表の2部門で各青年組織から10人が発表。青年の主張の部で出雲青年連盟の正木原野さん、組織活動実績発表の部で斐川青年連盟の坪内雅さんが最優秀賞に輝きました。

正木さんは、就農して6年間で感じた農業の魅力や今後の課題、未来への想いを発表。「農業は地域と人を守りながら未来を作る仕事」という思いを持ち、子どもたちが将来的に農業をしようと思えるような感情や仕組みを作りたいと伝えました。

坪内さんは、主催する農業絵画コンクールなど斐川青年連盟の主な活動について発表。今後はさらに食農教育と農政活動を発展させ、地域農業を盛り上げていくと意気込みました。

正木さんと坪内さんは、11月に鳥取県で開かれる中国四国地区JA青年大会へ出場します。

入賞者は次のとおりです。

- | | | |
|-------------|-------------------|--------------------|
| ◆青年の主張の部 | 最優秀賞＝正木原野（出雲青年連盟） | 優秀賞＝青木界人（西いわみ青年連盟） |
| ◆組織活動実績発表の部 | 最優秀賞＝坪内 雅（斐川青年連盟） | 優秀賞＝勝部聡史（隠岐青年連盟） |



前列左から青木さん、正木さん、同協議会の村上淳一会長、坪内さん、勝部さんら



青年組織協議会創立70周年！記念事業・式典を開催

島根県農協青年組織協議会は7月5日、出雲市の出雲ドームで創立70周年記念事業「Team SHIMANE マルシェ～農から広げる楽しいしまね～」を開きました。

記念事業のマルシェでは、同協議会で米の重量当てやスタンプラリーなどを行った他、各単組青年組織や外部団体（島根大学、出雲農林高校、出雲商業高校、商工会青年部）では、各地域の農畜産物や加工品などを販売。会場の各ブースには子どもから大人まで多くの人々が訪れました。

その後、同市内で記念式典を開き、盟友や来賓ら113人が参加。創立70周年記念事業実行委員の福間裕紀委員長は「これからの10年に向かってさまざまな活動を行い、食農教育活動やメンバー間のコミュニケーションのさらなるボトムアップを図っていく」と意気込みました。

同協議会は1955年に県内81組織により誕生。現在は10組織632人の盟友らに支えられ活動しています。



青年連盟による販売ブースで野菜の詰め合わせを購入する来場者



JAしまね 前代表理事組合長 石川寿樹の逝去について

このたび、前代表理事組合長 石川寿樹が、令和7年8月9日に享年74で永眠いたしました。ここに謹んで哀悼の意を示すとともに、故人の主な略歴や業績等をご紹介します。

- | | | | |
|---------|-----------|--------|----------|
| 平成27年3月 | 島根県農業協同組合 | 出雲地区本部 | 常務理事副本部長 |
| 平成28年7月 | 島根県農業協同組合 | 出雲地区本部 | 常務理事本部長 |
| 令和元年6月 | 島根県農業協同組合 | | 代表理事組合長 |

昭和52年に、出雲市農業協同組合に職員として入組し、35歳の若さで常務理事に就任。市議会議員を経た後、理事や役員として長きにわたりJAの運営に携わってきました。その間、地域振興を目的にJA直営スーパーマーケット「ラビタ」の立ち上げや、ブドウやシタケなどのリースハウス事業を促進し新規就農者の支援体制強化、新たな農業スタイルの確立を目指し高度環境制御栽培施設「出雲やさい新話ファーム」の建設などに取り組みました。

JAしまね代表理事組合長就任後は、農業やJAを取り巻く環境が厳しさを増すなか、常に新機軸を打ち出していく姿勢で、農機事業の県域会社化や県域施設・物流体制の整備として「広域玉葱調製保管施設」や「有機多目的倉庫」の建設、生産資材店舗の利便性向上に向け株式会社ジュンテンドーとの業務提携など様々な事業改革に取り組み、盤石な経営基盤の確立に寄与いたしました。

組合員の皆様には、生前のご厚誼に深く感謝し、厚く御礼申し上げます。

「おさいふカード」活用方法

貯める

JAしまねの店舗や
JAグリーンセンター、産直店舗や
ラピタでのお買い物や健診などでも!

- **ラピタ、産直店舗でお買い物**
3万円/月の利用で**150ポイント**(150p)
さらにEdyで支払うと**150ポイント**が追加(150p)
- **資材専用店舗でお買い物**
2千円/月の利用で**20ポイント**(10p)
- **JA-SSで給油**
6千円/月の利用で**10ポイント**(5p)
(注) JA-SSでは事前に「おさいふカード」を給油カードに紐付ける手続きが必要です。
くわしくはJA-SSまたは、支店窓口へお問い合わせください。



県内 Aコープ店でも

お買物で
『おさいふカード』
を提示すると
ご利用**200円**
(税抜)につき
1ポイントの
Aコープ
ポイントが!



ジュンテンドー でも

年間購入金額
10,000円(税抜)
につき
30ポイント
(15p)

※おさいふカードと
いきいきカードの
連携登録が必要です。



JA島根厚生連 の健診でも

農業者・女性部健診
1回**70ポイント**
(70p)

担い手ドック
1回**120ポイント**
(120p)



『おさいふカード』のポイントに自動的に移行されます

給与振込も住宅ローンも貯金もJAで!

『おさいふカード』を提示しなくても自動的にポイントが貯まります。

- **給与振込の指定口座** …… 年間**50ポイント**(25p)
- **年金受給の指定口座** …… 年間**50ポイント**(25p)
- **投資信託** (残高100万円の場合) …… 年間**50ポイント**(25p)
- **定期貯金** (残高200万円の場合) …… 年間**100ポイント**(50p)
- **住宅ローン** (残高1,000万円の場合) …… 年間**800ポイント**(0p)

※ () 内のポイントはJAしまね組合員以外の方のポイント数です。



詳しくはこちらから



使う

『おさいふカード』でお買物!

貯まったポイントがお買物代金として1ポイント1円で使えます。

〈例〉買物代金/1,200円⇒1,000円を現金で、200円をポイントで支払う。



グリーンセンター、
JAグリーン、産直店舗



ラピタ、Aコープ



農機/自動車センター



JA-SS

ポイント支払いできる店舗一覧は
こちら



ポイントをお買物券に交換!

JA店舗やAコープ各店に設置してある発券機から会員様の簡単な操作で500円券、または1,000円券に交換できます。



お買物券が使える店舗一覧はこちら



ポイントでJAしまねの特産品がもらえるよ!

「交換商品カタログ」の中からご希望の商品をポイントと交換できます。

〔商品の交換方法〕
支店窓口またはラピタ各店舗の他に、JAしまねHPからお申込みできます。



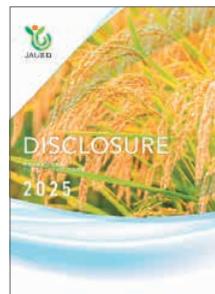
「おさいふカード」交換カタログは
こちら



ディスクロージャー誌掲載のお知らせ

J Aしまねは、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当JAに対するご理解を一層深めていただくために、令和6年度の主な事業の内容や組織概要、経営の内容について、利用者の皆さまのためにわかりやすくまとめたディスクロージャー誌2025を作成いたしました。

本誌につきましては、JAしまねホームページに掲載しておりますので、皆さまが当JAの事業をさらにご利用いただくための一助として、ぜひ一読いただきますようお願い申し上げます。



ディスクロージャー誌はこちらから

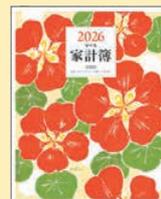
「家の光三誌」 価格改定のお知らせ

用紙・印刷・輸送などにかかる経費の高騰により、ご購入者の皆さまには大変心苦しい限りですが、2025年9月号より価格を改定、また、各誌とも毎号の価格を統一させていただきます。これを機に編集内容をさらに充実させ、より皆さまのお役に立つ雑誌を目指して励んでまいります。

2025年9月号より

	定価(税込)	年間購読【前納】価格(税込)
家の光	900円	9,900円
地上	750円	8,250円
ちゃぐりん	600円	6,600円
やさい畑	1,100円	—

また、今年度より増刊号として家計簿のみの販売をいたします。なお、『家の光』12月号に別冊付録としては付きませんのでご了承ください。
詳細につきましてはJAにてご案内チラシを用意しております。



「牛乳絵画コンクール」 募集のお知らせ

牛乳絵画コンクール 開催概要



主催	島根トヨペット株式会社／島根県牛乳普及協会
名称	牛乳絵画コンクール
開催目的	牛乳のある風景を描いた作品を通じて、牛乳の魅力や地域とのつながりを発信する
応募資格	島根県在住者（年齢制限なし）
テーマ	「牛乳のある風景」：牛乳を飲む・注ぐ・搾る場面、牛乳のイラストなど
作品規定	はがきサイズ（100×148mm）片面、縦横自由、手描き・デジタル可（印刷して提出）
応募方法	【作品郵送先】〒699-0111 島根県松江市東出雲町意宇南1-5-5 株式会社吉田写真堂「牛乳絵画コンクール」事務局宛
記載事項	氏名（ペンネーム等の掲示名がある場合は併記）、年齢、住所、電話番号、作品タイトル 未成年の方のご応募の際は、保護者の氏名、連絡先電話番号を記載のこと
参加費	無料（郵送費は応募者負担）
募集期間	2025年10月1日（水）～12月19日（金）
展示期間	2026年1月10日（土）～2月15日（日）
展示場所	島根トヨペット店舗にて展示、Web・SNSでも紹介予定
審査	主催者による審査
表彰内容	トヨペット店舗賞（7点）、メーカー賞（3点）、JAしまね賞（1点）、グランプリ（1点）
副賞	乳製品詰合せ＋商品券
作品の取扱い	返却不可。著作権は応募者に帰属。主催者は広報・展示・Web掲載等に無償使用可能
個人情報の取扱い	展示時に作品タイトルと作者名（ペンネーム等）を掲示。個人情報は受賞連絡・賞品発送のみに使用





「元気な地域」を女性部の力で!

いわみ中央女性部



JA女性組織3か年計画

『『あい♡』からはじまる『元気な地域』をみんなの力で』の実践初年度です。

助けあい 学びあい 育てあい

の3つの重点テーマを掲げ活動します。



当日は女性部組織活動体験発表や各支部による『家の光』記事活用作品の展示を通じて、活動の魅力や組織の力を参加者全員で共有しました。

また、JA共済連主催の「三遊亭遊馬師匠による交通安全落語」では、ユーモアあふれる語り口で会場が笑顔に包まれました。今後も地域のつながりを大切に、地域の活性化と協同の輪の広がりを目指していきます。

JAしまねいわみ中央女性部では、組合員同士の絆を深めることを目的に、JAしまねと共に「JAふれあいの集い」を開催しています。2010年から当女性部が中心となり毎年開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の流行で中止を余儀なくされる状況が続きました。昨年度は、コロナ禍を経て4年振りに開催することができ、約90人が参加しました。

育てあい



一所懸命青年連盟



JAしまねいわみ中央青年連盟

地産地消に取り組み、農業を通じて、地域に貢献していきたい

ふじもと 藤本

かずし 一志さん



JAしまねいわみ中央青年連盟(以下、農青連)の藤本一志さん(36)は、浜田市金城町で水稻を約6haで栽培し、就農して16年目になります。

高校卒業後、地元で製造業に就職しましたが、20歳の時に父親が亡くなり、分からないながら兼業農家からスタートしました。地域の人に教えてもらいながら農業を始め、将来的に農業で生計を立てていきたいと思い、3年前から地元の大型農家でもある農青連の先輩のもとで働きながら勉強をしています。今後は水稻を中心に規模拡大を目指しており、地域の農業を盛り上げていきたいと考えています。

農青連には、令和6年度に盟友から誘われ加入しました。加入後には、海外視察研修への参加や、令和7年度島根県JA青年大会では青年の主張の部で発表しました。藤本さんは「兼業農家として農業を始め、農業の楽しさを知った。農青連活動や自然の中で働く楽しさなどを発信していきたい。農業仲間が増えるように頑張りたい」と今後の意気込みを語りました。



ピリッとした辛さとゴマの風味がおいしい

ゴマの香りとクレソンに似た辛さがあり、若く柔らかい葉はサラダや肉の付け合わせ、ピザのトッピングなどに使われます。茎の周辺に葉の直立する姿がロケットのように見えることから「ロケット」とも呼ばれています。

栽培時期

発芽適温は20～25度、生育には15～25度が適し、低温期は生育が衰えます。冬を除き、ほぼ周年栽培ができますが、盛夏期は遮光ネット(20%)を使った暑さ対策が必要です。春～秋まきでは30～40日で収穫できますが、晩秋まきでは収穫まで60日以上となります。霜には強くないので、不織布でべたがけをして防寒します。

品種

各社から「ルッコラ」または「ロケット」として販売されています。なお、ルッコラの野生種といわれるセルパチコには、葉が細くとがり香りが特に強い品種「ローマ」(トキタ種苗)もあります。

畑の準備

種まきまたは植え付け2週間前までに、1平方m当たり苦土石灰100gを菜園全体に散布し耕しておきます。1週間前までに堆肥1kgと化成肥料(NPK各成分10%)100gを全面に施し、土とよく混ぜておきます(図1)。ルッコラは野生に近く肥料が多いと香りが弱くなりがちです。

種まき

幅70～80cm、高さ5～10cmのベッドを作ります。次に、板切れなどで直角方向に幅20cm間隔の浅い種まき溝を作り、この溝に約1cm間隔に筋まきします(図2)。種は小さいので、種が隠れる程度(5、6mm)に薄く覆土します。不織布のべたがけで幼苗を保護しましょう(図3)。7～10日間隔にまき日をずらせば、長い間収穫を楽しめます。なお、苗作りをする場合は、128穴のセルトレーに1セル4、5粒を種まきし、発芽後は間引きして本葉約3枚の植え付け苗に仕上げます。苗は5、6cm間隔に植え付けます。

間引き・灌水(かんすい)

1回目は発芽後、葉が重ならない程度に順次間引き、2回目は本葉約2枚のときに5、6cmくらいにします(図4)。畑が乾燥すると葉が堅くなりやすいので、適宜灌水します。

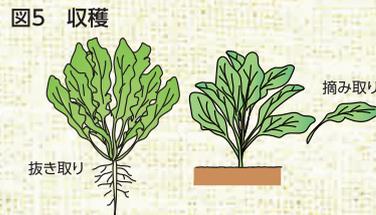
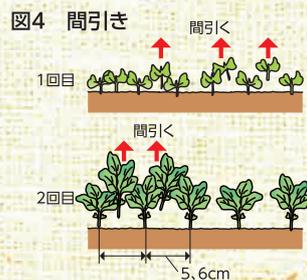
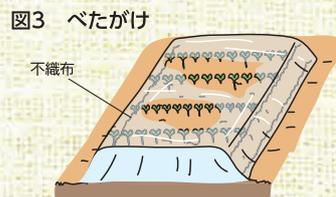
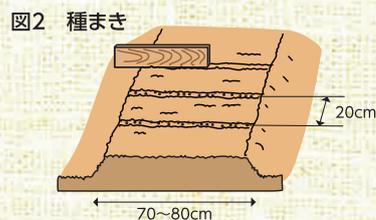
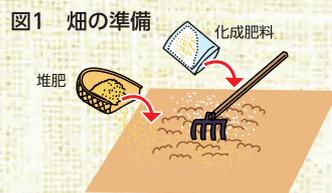
病害虫の防除

周年にわたりキスジノミハムシ、コナガ、アオムシ、アブラムシの

被害を受けやすいので、目の細かい防虫ネットを使用したトンネル栽培がおすすめです。

収穫

葉が柔らかいうちの若取りが良く、葉の長さが20～25cmのときに収穫適期で、株ごと抜き取ります(図5)。なお、外葉から1枚ずつ摘み取れば、長い間収穫を楽しめます。



栽培カレンダー ルッコラ(ロケット)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
冷涼地		● 春まき	■ 生育	■ 収穫	● 夏まき	■ 生育	■ 収穫	● 秋まき	■ 生育	■ 収穫
中間地・暖地	● 春まき	■ 生育	■ 収穫	● 夏まき	■ 生育	■ 収穫		● 晩秋まき	■ 生育	■ 収穫

● 種まき ■ 生育 ■ 収穫

【ベランダでも育てられる みんなのコンテナ栽培】

をJAしまねホームページで連載中です。今月は「サヤエンドウ」!



理事会情報 (8月25日開催)

【協議事項】

- 令和8年度島根県農業政策及び予算に関する要望について(最終案)
- 令和7年産島根米の諸条件の設定について
- 令和7年産島根米の概算金単価の設定について
- 令和7年産飼料用米の概算金単価の設定

について

- 令和7年産米穀に係る概算金支出枠について
- 自動車燃料事業の県域一体化について
- 【JASTEMシステム基盤更改】県移行対策本部・県移行実施本部設置運営要領および危機管理計画書の策定について
- 職制規定の一部改正について

- 大口貸出金の承認について①
- 大口貸出金の承認について②
- コンプライアンス・マニュアルの改正について
- 常勤理事の他の団体理事等への就任について
- 人事ローテーション実施要項の一部改正について

令和7年度 地区別組合員大会



ご意見・ご質問にお答えします。

令和7年度の組合員大会を7月8日から8月5日にかけて14会場で開催し、768名の方にご参加いただきました。組合員大会は、JAの事業概況を報告するとともに、組合員の皆様からのご意見・ご要望をお聞きし、今後の事業運営に活かすことを大きな目的として開催しています。

ご意見・ご要望としていただいた中から、一部についてご紹介いたします。

なお、その他のご意見等については、当地区本部ホームページに掲載していますので、ご確認ください。

営農部門

Q 概算金の算出・決定方法が知りたい。

A 生産者の生産流通コスト等を賄うことを前提に、米の在庫状況・需給環境などを考慮した上で概算金の算出基礎を作り上げています。また、カントリーや倉庫など安定した米集荷が出来るよう、施設・設備の維持についても収支シミュレーションを実施しています。このように検討を重ね、各種会議体での協議を経た後、例年8月理事会で決定し周知しております。生産者の皆様におかれましては、1袋でも多く出荷していただきますようお願いいたします。

Q 米価が高騰した理由は何だったのか。また、JAが考える適正価格ほどの程度か。

A 農林水産省による需給調査の甘さにより、現実には米不足にも関わらず需給バランスが取れているとした一連の対応が、今回の米騒動の主要な要因との認識です。新聞等に掲載されている小売

店頭販売価格3,500〜4,000円/5kgが適正価格であるとした農家の声を支持するところですが、持続可能な農業の実現のためには、消費者の理解を得る取り組みを実践することが不可欠であると考えます。令和7年6月に「食料等の持続的な供給を実現するための食品等事業者による事業活動の促進及び食品等の取引の適正化に関する法律」（食料システム法）が成立し、令和8年度から運用が開始される予定であり、新たな法律のもとJAグループとして、国に対し適正な価格形成に向けた提言を実行する必要があります。

Q 国の農業政策が地域農業に大きく影響するが、今こそJAが旗振り役となり政策提案すべきではないか。

A 国への政策提言については、全国中央会および全国農業者農政運動組織連盟を通じて行うことが基本ですが、当地区本部では出雲市農政会議と連携し、地元選出および組織代表の国会議員に対して独自の要望活動等を行っています。令和8年度から食料システム法の運用が予定されていること

から、農畜産物の適正な価格形成の実現を期待するとともに、その実現に必要な農畜産物の「コスト」についても、JAグループとしてデータ提供など積極的に関わる必要があると考えます。

生活部門

Q ラピタの子会社化の検討状況はどうか。また、小規模店

(佐田・多伎・湖陵・大社)の運営を継続してほしい。

A ラピタの子会社化については、令和6年12月より検討委員会を立上げ検討しています。現在、専門機関へ相談・調査を行っていますが、大きな問題も山積しており具体化には時間を要するものと考えますが、引き続き検討してまいります。また、小規模店舗の運営については、ラピタ全体の運営にも大きな影響があり、早期に収支改善に向けて検討していく必要があると考えます。ラピタ全店を総合的に検討するなかで、小規模店舗のあり方(運営)についても方向性を見出したいと

考えております。

自動車燃料部門

Q 給油所の定休日が増え、不便になった。

A 人員不足により令和6年8月から白枝SS・湖陵SSにおいて暫定的に週2日の休店日を受けましたが、その後も新たな採用が進まないとともに職員の離職が続き、令和7年7月より佐田SS・多伎SS・浜山SSでも止む無く週2日の休店日とさせていただきますました。組合員の皆様にはご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

金融・共済部門

Q 他金融機関と比べて貯貸率が低く、貸付率が低い。要因は何か。

A JAしまねの令和6年度末貯貸率は29.3%で、他金融機関平均(62.94%・令和5年3

月期)に比べ低い傾向にあります。他金融機関は貸出金に占める法人融資の割合が高い一方で、少子高齢化や農業生産額の少ない当県では、個人融資や農業融資を主とするJAにとって、その資金需要にも限界があります。また、余裕資金(貯金)の運用(貸出金・有価証券等)に関しても、余裕金運用規程「農林中央金庫への預け金を優先し、その金額は、貯金および定期積金の合計額の二分の一を下回ってはならない」に基づき、貸出金に対する制限があることから他金融機関とは異なります。

企画総務部門

Q どの業種も人手不足のようだが、組合員サービスのためにしっかり職員を確保してほしい。

A 人手不足の背景には、少子高齢化や人口減少、働き方の多様化など、さまざまな社会情勢の変化が関係しており、あらゆる業種で深刻な課題となっています。当JAにおいても同様の課題を抱

えておりますが、組合員の皆様へのサービスの質を維持するため、採用活動の強化、職員が定着できる職場づくり、デジタル化を含めた業務の効率化に取り組んでまいります。

Q 組合員大会・冬期座談会は組合員が直接意見を述べる貴重な場であり、今後も継続開催してほしい。

A 組合員大会は、『地区本部役職員の報告と意見交換を通じてJAの事業概況を組合員に報告するとともに、意見交換を通じてJAに対する理解を深めていただくことを目的』として、出雲市農協時代からの伝統かつ出雲地区本部独自の取り組みとして開催しています。ご意見のとおり、組合員大会・冬期座談会は組合員の意見・考え方を聞き取る貴重な場として、開催を継続したいと考えます。今後もお誘い合わせのうえお出かけいただき、JAに対するご意見等をお聞かせいただきますようお願いいたします。

ぶどう団地安全祈願祭

J Aしまね出雲地区本部は8月20日、出雲市浜町にてぶどう団地ハウス建設工事の安全祈願祭を行いました。J A関係者のほか、県や市の関係者など約30人が出席し、工事の安全と円滑な事業遂行を祈願しました。

本事業はJ Aしまね出雲ぶどう部会とJ Aしまね出雲地区本部が連携し、生産面積の縮小や生産者の高齢化が続くぶどう産地を再興するため、令和4年から関係機関と協議を重ねてきました。「ぶどう団地構想」の一つとして、国庫補助事業を活用し、ハウス面積1・1ヘクタール、全10棟の建設を予定しています。令和8年3月の完成を目指しており、3経営体が新規就農する計画です。

同地区本部の坂本満本部長は「ぶどう団地を基軸として、『出雲型担い手システム』を構築し、新規就農者の育成、独立を支援しながら、産地体制の整備により生産量の拡大を目指していきたい」と話しました。



いみすき 齋鋤入れを行う坂本本部長

多伎いちじく出発式

J Aしまね多伎いちじく生産部会は8月21日、多伎農産物集荷所で多伎いちじく出発式を開きました。生産者のほか県や市、J A関係者など約30人が出席。「多伎町いさり火太鼓同好会」の演奏とテープカットで出発を祝い、特産の「多伎いちじく」を載せたトラックを拍手で送り出しました。

今年産のいちじくは、春先の低温により平年に比べ生育は遅れましたが、着果量は十分。梅雨明け以降の雨不足により小玉化が心配されましたが、例年並みの玉太りで糖度がしっかりと乗った高品質ないちじくとなっています。出荷は山陰西県をはじめ、山陽や関西の計12市場に向けて10月下旬まで続きます。

多伎いちじくは、同部会員73人が15・0ヘクタール（うちハウス0・9ヘクタール）の面積で栽培。品種は「蓬菜柿^{ほうさいし}」で、日本海からのミネラルを含んだ潮風を浴び、上品で強い甘みと程よい酸味が特徴です。同部会の立脇渉部会長は「今年も十分な甘みのあるいちじくができています。安全安心でおいしい多伎いちじくを多くの方に手にとっていただきたいです」と話しました。



出荷をむかえた多伎いちじく

J Aしまね出雲女性部中部地区 児童と共に環境保全活動

J Aしまね出雲女性部中部地区の役員は7月31日、社会福祉法人里方福祉会が運営する「かがやきクラブ」の児童たちと、高浜川へ有用微生物入り泥団子の投げ入れを行いました。この有用微生物入り泥団子は、田んぼの泥に、ぼかし、光合成細菌を主とした複数の微生物群などを混ぜ込み乾燥させたもの。微生物の力でヘドロを分解し、河川の水質浄化を期待できるものです。今回投げ入れた有用微生物入り泥団子は、春ごろに同女性部役員が約1000個作成したもので、この日はそのうち約400個を役員と児童が協力して投げ入れられました。同地区の錦織文子地区長は「この活動を通して、子どもたちが環境に関心を持ってくれば嬉しいです。約20年続けている活動であり、今後子どもたちと緒に続けていきたいです」と話しました。

なお、残りの約600個については、秋ごろに投げ入れを行う予定です。



高浜川へ有用微生物入り泥団子の投げ入れを行う女性部役員と児童

「JAしまね出雲女性部東部地区 「JAかがやく女性交流会」を開催

JAしまね出雲女性部東部地区は8月1日、JAしまね平田中央支店大会議室で「JAかがやく女性交流会」を開催しました。同JA女性部員、役員約120人が参加し、会場には各支部が作成した手芸作品が多数並び、日頃の活動の成果を発表し合い、部員同士の親睦を深めました。

支部活動発表では、平田東支部「松山大正琴グループ「ラブリ」による演奏、西田支部「かもめ会」と役員による踊り、国富支部「だんごの会」による寸劇など、それぞれ日頃の活動や趣向を凝らした演目を披露。また、今年度は佐田支部「出雲弁大好き♡伝え隊おんぼ、らあと」も登場し、会場を大いに盛り上げました。会場では、同JA坂本満本部長をはじめ、役員、参加者が一緒に歌ったり踊ったりと、終始笑顔あふれる和やかな雰囲気の中、楽しいひと時を過ごしました。



楽しく踊る女性部員と役員

「JAカップ第42回島根県学童 軟式野球選手権大会」開催

JAカップ第42回島根県学童軟式野球選手権大会・出雲地区大会が、8月23日から始まり、24日、31日、9月7日の4日間にわたり熱戦が繰り広げられました。本大会は、島根県軟式野球連盟および山陰中央新報社が主催し、JAしまねとJA共済連島根が特別協賛として地域の青少年スポーツ振興に貢献しています。

23日に出雲健康公園少年野球場で行われた開会式では、JAしまね出雲地区本部吾郷正人副本部長が始球式を務め、球児たちへエールを送りました。今年はお出雲市内21チームが参加。厳しい暑さの中でしたが、球児たちは元気いっぱいプレーし、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。

県内の各地区大会を勝ち抜いたチームは、10月18日、19日に松江市宮野球場で開催される県大会に出場します。



始球式を務める吾郷副本部長



熱戦を繰り広げる球児たち

「第20回出雲神話まつり」 出雲盆踊りにJA役員も参加

出雲神話まつり振興会と同実行委員会主催の「第20回出雲神話まつり」が8月16日、23日に開催され、16日に行われた「出雲盆踊り」に、JAしまね出雲地区本部の役員も参加しました。今年には役員24人が参加し、出雲市今市町のくびぎ中央通りを踊りながら練り歩きました。また、役員を中心に「国消国産」のPRとして、見物に訪れた人々へポン菓子の配布も行いました。

「出雲盆踊り」には、同JAの出雲女性部長支部、出雲女性部四絡支部防火クラブなど、18団体約400人が参加。それぞれそろいの浴衣などを着て見物に訪れた大勢の人々の前で踊りを披露しました。

23日には大津神立河川敷公園で花火大会が行われ、色鮮やかな大輪の花火が出雲の夜空を彩りました。



「国消国産」のPRとしてポン菓子を配布する坂本満本部長





塩野

しおの

一男

かずお

(76)

— 水稲 —

栽培面積

・水稲 26ヘクタール
品種: つや姫、きぬむすめ、コシヒカリ

宇那手町や稗原町、朝山町など26ヘクタールの面積で、つや姫、きぬむすめ、コシヒカリといった品種の水稲を栽培する塩野一男さん。昭和59年から作業受託による水稲栽培を始めました。平成5年頃からは自宅に作業所を構え、家族とともに栽培から出荷まで一連の作業を行い、おいしいお米作りに励んでいます。

中山間地域での水稲栽培

塩野さんが主に作業を行う中山間地域は、土地が複雑で畦畔も多く、圃場の面積も小さいため、作業には平地と比べて多くの手間がかかります。塩野さんは「栽培には手間もかかりますが、おいしいと言ってくださる方が多いので作業の励みになっていきます」と話します。畦畔を取り除いて圃場を広げるなど、作業効率を高める工夫を重ねながら、地域でおいしいお米作りに取り組んでいます。

安全でおいしいお米を目指して

塩野さんは、良質・良食味はもちろん、食べて安全なお米の生産に力を入れています。牛ふん堆肥を使うことで、稲が育ちやすい土壌環境を整え、甘みのあるお米作りに努めています。さらに、出荷前には食味計測定を行い、自らお米の食味を確認した上で出荷をしています。「作るからには、安全で甘みのあるおいしいお米を届けたい」と話す塩野さん。牛ふん

堆肥の使用は化学肥料の削減にもなるため、お米の味や安全性、環境にも配慮しながら日々努力を重ねています。

中山間地域で栽培を続ける

畦畔の多い圃場での作業は、塩野さんご夫婦、息子さんの3人が中心となっており、行っています。「水稲の栽培は草刈りなど大変な作業も多いですが、忙しい時期には周囲の方々に手伝いをお願いし、協力を得て作業を進めています」と話す塩野さん。また、管理する土地が多い分、農地の状態もさまざまです。塩野さんは現在、農地の状態に合わせて水稲に加え、そばや短期間で収穫できるカボチャの栽培にも取り組んでいます。「土壌の状態に合わせて、いろいろな作物の栽培にも取り組んでいきたい」と話す塩野さん。農地保全の観点からも、農地の状態に応じた多様な作物の栽培に取り組み、今後も中山間地域でおいしいお米や農作物の栽培に取り組んでいきます。





出雲女性部・やすらぎ会共同企画「フードドライブ」 ～たくさんのご寄付ありがとうございました!～

JAしまね出雲女性部とやすらぎ会は、7月22日から31日にかけてフードドライブに取り組みました。部員・会員・地域の方々に家庭で余っている食料品・日用品の寄付をお願いしたところ、たくさんの品をお寄せいただきました。ご寄付いただいたものは出雲市社会福祉協議会を通じ、必要とされている方へお渡しいただきました。ご協力ありがとうございました。



出雲女性部・やすらぎ会で行う フードドライブとは

家庭で食べきれない食品や、余っている食品・日用品などを出雲市社会福祉協議会と協力し、いま生活に困窮する状況にある方に届ける活動です。家庭での食品ロス削減や助け合いの輪を広げる活動にもなり、わたしたちの目指すSDGsの目標達成につながっています。

「業務レンタカー出雲店」開店のお知らせ (有)JAいずも アグリマート

平素はアグリマートの事業に格別のご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。
このたび、『業務レンタカー出雲店』を下記の通り開店いたしました。
皆様にご愛顧頂けますよう一生懸命努力してまいりますので、
何卒お引き立ての程 宜しく願い申し上げます。



店 舗 業務レンタカー出雲店
場 所 出雲市塩冶町990(JA-SS南給油所内)
営 業 日 時 10時～18時(日・祝を除く)※年末年始等別途不定休あり
お問い合わせ先 050-5536-7301 ※お電話は営業時間内のみご利用いただけます
ご 予 約 先 <https://renntacar.net/> ※ご予約はWebサイトよりお願いします

業務レンタカーとは…

中古の軽自動車を中心に使用している事もありますが、大手レンタカーと比較すると、料金設定が安く、長期で借りるとさらに格安になるのが特徴です。業務レンタカーという名前ではありますが、どなたでもご利用頂けます。

例) A2クラスのミライースをレンタルした場合

1日 3,740円(税込)
1週間 11,000円(税込) ※1日平均1,572円(税込)
1ヶ月 29,700円(税込) ※1日平均 958円(税込)



法人・個人 大歓迎
スマホで簡単予約
長く借りても格安

職員人事異動

経営機構順

令和7年9月1日付

係長以上

氏名

新任

旧任

本店・他地区本部

河原 修	隠岐どうぜん地区本部統括支店長	(生活部葬祭センター長)
井上 学	隠岐地区本部隠岐支店次長兼共済課長	(出雲統括支店共済課課長補佐)
今岡 則之	本店営農経済事務指導室係長	(自動車燃料部自動車課長代理兼係長)
立石 拓也	本店総務部総務課係長	(企画総務部総務課係長)
菖蒲 廻 武	本店監査部	(出雲支店貯金課係長)
営農部		
小川 卓哉	営農部営農企画課長	(企画総務部企画管理課マネージャー)
自動車燃料部		
鳥屋尾 英紀	自動車燃料部長兼石油課長	(自動車燃料部長兼自動車課長)
岡田 強	自動車燃料部自動車課長	(本店共済部生命建物共済課長)

金山 信也

自動車燃料部ガスセンター係長

(本店経済部経済課係長)

神田 茂己

自動車燃料部石油課係長

(自動車燃料部ガスセンター係長)

内藤 航

自動車燃料部自動車課係長(昇進)

(自動車燃料部自動車課)

生活部

小野 勉	生活部次長兼葬祭センター長	(西部ブロック大社支店長)
原 享之	生活部店舗企画課マネージャー兼バイヤー(管理職登用)	(生活部ラピタひらた店チーフ)
加藤 純子	生活部ラピタはまやま店副店長	(生活部ラピタみなみ店マネージャー)
井上 勲	生活部ラピタみなみ店副店長(管理職登用)	(生活部店舗企画課チーフ兼バイヤー)
金本 和美	生活部ラピタひらた店副店長	(生活部ラピタ本店食品日雜課マネージャー)

企画総務部

高野 真哲	統括部長兼企画総務部長兼事務センター長	(統括部長兼企画総務部長)
柳 俊介	企画総務部付	(西部ブロック推進課長)
川島 慎哉	企画総務部総務課係長(昇進)	(企画総務部総務課)
下田 睦	企画総務部企画管理課係長	(出雲統括支店金融課係長)
長 廻 潤哉	企画総務部事務センター長代理兼係長	(企画総務部事務センター係長)
出雲統括支店		
白石 浩嗣	出雲統括支店長兼資産相談課長	(出雲統括支店長)
片井 義文	出雲統括支店資産相談課長代理兼マネージャー	(出雲統括支店資産相談課マネージャー)
田部 優作	出雲統括支店資産相談課ローン営業センター係長(昇進)	(出雲統括支店資産相談課ローン営業センター)
川上 理恵	出雲統括支店金融課係長(昇進)	(中部ブロック出雲北支店)

出雲支店	
久野 健太郎	出雲支店貯金課係長 (自動車燃料部石油課係長)
宮城 千里	出雲支店貯金課係長 (河南ブロック神戸川支店金融係長)
江角 成司	出雲支店融資課係長 (本店総務部総務課係長)
金森 淳也	出雲支店出雲市役所支店長代理兼係長 (本店監査部)
中部営農センター	
河瀬 浩隆	中部営農センター長代理兼係長兼営農渉外員兼営農相談員兼GAP推進リーダー (中部営農センター係長兼営農渉外員兼営農相談員)
中部ブロック	
渡部 良治	中部ブロック川跡支店長 (企画総務部事務センター長)
東部ブロック	
森山 祐加子	東部ブロック平田中央支店共済課長 (本店人事部付)
園山 治子	東部ブロック平田中央支店金融係長 (出雲支店貯金課係長)
西部ブロック	
永見 和也	西部ブロック推進課長 (西部ブロック推進課マネージャー)
生馬 慎一	西部ブロック推進課マネージャー (管理職登用) (西部ブロック高松支店共済係長)
加藤 保憲	西部ブロック高松支店長代理兼金融課長兼共済課長 (本店資金部証券管理課長)
福田 悟	西部ブロック大社支店長 (出雲統括支店資産相談課長)
山根 康太	西部ブロック荒木支店長兼遙堪支店長 (営農部営農企画課長)
神門 延好	西部ブロック高松支店共済係長 (南部ブロック出雲南支店共済係長)
藤井 友陽	西部ブロック大社支店共済係長(昇進) (西部ブロック大社支店)

河南ブロック	
阿部 弥生	河南ブロック神戸川支店金融係長兼年金専門員 (出雲支店出雲市役所支店長代理兼係長)
南部ブロック	
河瀬 律子	南部ブロック出雲南支店共済係長 (東部ブロック平田中央支店金融係長)
退職者 (令和7年8月31日付退職)	
三島 吉雄	中部ブロック川跡支店長 (定年退職)
中尾 正人	西部ブロック高松支店長代理兼金融課長兼共済課長 (定年退職) 〔JAいずも福祉会〕
福田 武志	西部ブロック荒木支店長 (定年退職)
今岡 潔志	本店金融部長兼融資管理センター長
土江 俊之	営農部長付
珍部 正雄	出雲支店融資課係長 (選択定年退職)



総合指導課・畜産課・営農センター職員紹介

中部営農センター TEL.0853-31-9055



勝部 愛梨
080-2914-0526
高 浜
農産・特産



和田守 有香
080-2914-8438
上津・大津・今市
農産・特産



石飛 創太
080-2914-8437
塩冶・四絡
農産・特産



センター長代理・TAC
河瀬 浩隆
080-2914-8436
中部(川跡・鳶巣)
農産・特産



センター長
石飛 修



役 職
写 真
氏 名
業務用携帯番号
担当地区
担当品目

総合指導課 TEL.0853-21-6038



係 長
玉木 祥治
080-2914-8474
ラピタ農産物直売会



係 長
多久和 修
080-2914-8472
農 産



課 長
佐田尾 豊



常松 栞奈
080-2914-8475
アスパラガス・神在ねぎ



営農技監
高橋 眞二
農 産



係 長
渡部 優太
080-2914-8453
しいたけ



田中 亜由子
080-2914-8458
メロン

東部営農センター TEL.0853-62-9059



係 長
多久和 雄輔
080-2914-8445
桧 山
柿



センター長代理
綿貫 真吾
080-2914-8443
灘 分
農 産



センター長
岡野 祥彦



福田 廉
080-2914-8461
国富・佐香
畜産・特産



遠藤 優太
090-4652-7500
東・伊野
特 産



TAC
内藤 理恵子
080-2914-8449
東部(久多美・西田・鶴淵・北沢)
農 産



原田 恵梨子
080-2914-8442
平 田
特 産



令和7年9月1日現在 業務用携帯にお気軽にご相談、お問い合わせください

河南宮農センター TEL.0853-43-7007

係長・TAC



落合 稔

080-2914-8464

湖 陵
甘藷・農産

センター長代理



永井 裕二

080-2914-8462

神 西
きゅうり・大根

センター長



山根 泰成



高橋 恵子

080-2914-8459

神門・古志
梨



今岡 翔哉

080-2914-8476

多 伎
いちじく

西部宮農センター TEL.0853-53-2168

TAC



久谷 憲司

080-2914-8455

西 部
農 産

センター長代理



廣戸 大訓

080-2914-8456

西 部
ぶどう

センター長



堀内 達生



森脇 智香

080-2914-8452

西 部
特 産



河村 壮真

080-2914-8454

西 部
ぶどう

南部宮農センター TEL.0853-84-0213

係 長



今岡 尚樹

080-2914-8467

乙 立
農産・特産

センター長代理



和田 賀成

080-2914-8466

佐 田
農産・特産

センター長



園山 啓治

係長・TAC



加田 芳久

080-2914-8470

南 部
畜 産



春日 慎也

080-2914-8469

朝山・稗原
農産・特産



小村 晃

080-2914-8465

南 部
農産・特産

畜産課 TEL.0853-21-6043

係 長



野津 翔矢

080-2901-5116

和牛繁殖

センター長代理



綿貫 幸生

080-2901-5120

和牛肥育・養鶏

営農部次長兼課長



原 崇



勝部 博貴

080-2901-5119

酪 農



伊藤 敦

080-2901-5118

和牛繁殖・酪農





出雲市農政会議だより

令和7年9月

発行元：出雲市農政会議(出雲市今市町106番地1 JALまね出雲地区本部 営農企画課内)
発行責任者：事務局長 小川 卓哉

No.119

【活動内容報告】

○出雲市農政懇談会の開催

7月31日、令和7年度出雲市農政懇談会をラピタ本店にて開催しました。当日は、出雲市農政会議、出雲市農政議員連盟、JAしまね出雲地区本部から、総勢96名が参加しました。「最近の米穀情勢について」の研修後、懇談会では農政会議各支部および各生産部会等からの要望事項を、『令和8年度出雲市農業振興施策確立に関する要望事項』として8項目にまとめ、各項目に対する現状の問題点の報告や要望に対する思いなど熱心な意見交換を行いました。

○出雲市農業振興施策確立に関する要望・陳情の実施

8月19日、出雲市農政懇談会で頂いた意見をふまえた「要望事項」を、出雲市長へ要望、出雲市議会へ陳情しました。要望事項については、以下のとおりです。

1. 農畜産物の適正な価格形成の実現について
2. 新たな水田政策について
3. 地元産畜産飼料用作物の確保について
4. 担い手確保・創出に向けた支援の強化について
5. 持続可能な農業の実現に対する支援について
6. 国営緊急農地再編整備事業(宍道湖西岸地区)について
7. 耕作不利地に対する重点施策の実施について
8. 有害鳥獣対策について



飯塚市長へ要望書を提出



伊藤議長、大場副議長へ陳情書を提出

○出雲市農業振興施策確立に関する緊急要望の実施

8月1日、「渇水に係る緊急支援措置に関する要望」を、出雲市長へ要望しました。要望事項については、以下のとおりです。

1. 水田など圃場への散水、送水に関する機材に対するリース支援
2. 広大な面積を有する果樹園や、用排水路などから水を汲み上げることができない圃場へ遠方から水を運ぶなど専門業者の活用に対する支援

JAしまね 出雲地区本部で
年金をお受け取りいただいている方全員に

ラピタ
食品レジでの
お買物値引券として
ご利用いただけます。

感謝の気持ちを込めて

Thank You!

×2回

250円値引

ご利用期間

令和7年10/1(水)
～令和7年11/30(日)

計500円値引

お買物値引券(ハガキ)は、9月外勤日または郵送でお届けします。

- ※1回の精算で250円の値引となります。
- ※一部対象外商品(金券、出雲市指定ごみ袋、たばこ、ファーマーズ、雑誌、当店指定商品等)がございます。詳しくは係員にお尋ねください。
- ※税込500円以上のお買物で値引いたします。
- ※ご家族等でもご利用できます。
- ※ラピタ食品コーナーの商品に限ります。
- ※最終は、2回ご利用頂いた後、サービスカウンターにてボックスティッシュ1箱を進呈いたします。
- ※セルフレジではご利用できません。

JAしまね出雲地区本部にて年金振込口座をご指定いただいている方が対象となります。

お問合せ先 / JAしまね出雲地区本部各支店または出雲統括支店金融課まで

いずもJA女子大学 特別講座 受講者大募集!

令和7年11月から令和8年2月にかけて、毎月1回「いずもJA女子大学特別講座」を開講します! 今月は11月講座のご案内をいたします。皆様のご参加をお待ちしております!

11月の講座は 「あたらしい防災講座」 家の光12月号を使い、防災について学びます。

- 日 時 / 11月13日(木) 10:00~12:00
- 場 所 / JAしまね出雲地区本部401会議室
- 受講対象者 / JAしまね出雲地区本部管内在住の20~50代の女性の方
- 募集定員 / 20名
- 受講料 / 1,000円
- 申込先 / JAしまね出雲地区本部 ふれあい福祉課まで(電話、FAX、メールにてお申し込みください)
TEL: 21-6013 FAX: 21-6015 mail: fureaifukushi.izm@ja-shimane.gr.jp

●応募締切: 令和7年10月17日(金)

このような講座も計画中😊

受講特典
「家の光」12月号
+ 出雲産農産物
プレゼント!!

令和7年12月講座 「人生が変わる断捨離講座」	令和8年1月講座 「神在ねぎ収穫体験・料理教室」	令和8年2月講座 「家庭で焙煎コーヒー講座」
----------------------------	-----------------------------	---------------------------

12月講座の募集等については、しまねびより10月号にてご案内いたします。
その後も各講座ごとに、しまねびよりにてご案内いたします。

輝け!
いずもスマイル

稗原町で農地管理やジビエ肉の加工・販売を行う合同会社ジビエール。中山間地域で深刻化する鳥獣被害や農地の荒廃を防ぐため、令和5年2月から活動を始めました。

活動の中心である農地管理では、高齢化や転居などにより管理が困難となった土地を守るため、所有者に代わって定期的な草刈り作業などを受託。さらに、土地の管理だけでなく、掃除や力仕事など、地域の方々が日常生活で抱える困りごとにも柔軟に対応しています。活動を通して喜んでいただけることや、地域を活気づけられることが喜びという皆さん。上野副代表は「地域の方々との関わりを大切にしながら、今後はサービスをより広域で提供していきたい」と話します。

ジビエ肉の加工は、令和7年4月から開始。主に、地域で捕獲されたイノシシやシカ肉の加工・販売を行っています。「捕獲された野生鳥獣の肉を、地域の特産品としてうまく活用したいです」と話す上野代表。イベントで試食の機会を設けるなど、ジビエ肉の魅力発信にも努めています。

出雲市稗原町 合同会社 ジビエール

代表	うえの 上野	まさゆき 誠之さん(39歳)中央
副代表	うえの 上野	ともあき 友明さん(27歳)右
	いわがみ 岩上	まなぶ 学さん(26歳)左



地域の課題解決と資源の有効活用の両立を目指す合同会社ジビエール。さまざまな取り組みを通じて、農地保全や地域のさらなる活性化に貢献することを目指しています。

■合同会社ジビエール

稗原町を中心に、約3万㎡の面積で農地管理や依頼に応じたさまざまな作業を行う。また、イノシシやシカ肉の加工、飲食店への卸売りやインターネット販売を手掛ける。

健康ライフかわら版

9月は「しまね☆健康づくりチャレンジ月間」です!

島根県では、毎年9月を「しまね☆健康づくりチャレンジ月間」に定めています。
積極的に健康づくりに取り組んで、「健康長寿日本一(健康寿命の延伸)」を目指しましょう!

<p>生活に +1(プラスワン) を取り入れよう</p>	<p>まずは1日1つ、できることから健康づくりにチャレンジしてみましょう♪ 普段の習慣や家事・仕事の動線の中でできることを取り入れると、無理なく続けやすいです。 (例) 階段を積極的に使う、野菜が多めの弁当を選ぶ、健康づくりに関する情報を集めるなど</p>
---	--

〈参加者募集中!!〉

【9月開催】
しまね☆健康づくりチャレンジ月間

一緒に健康づくりに
チャレンジしてみませんか?

➔

【島根県HP】

【10月開催】
みんなで歩こうチャレンジコンテスト

今年は家族部門を新設しました!
友人や家族でチャレンジしてみませんか?

➔

【出雲保健所HP】

お問い合わせ先 出雲保健所 健康増進課 TEL 21-8785

おたより広場

読者のみなさんからの投稿コーナーです。最近あった「楽しかったこと」「最近思うこと」「感動したこと」…ぜひお聞かせください。写真や絵手紙・イラストも大募集!!

〒693-8585
出雲市今市町106番地1
JAしまね出雲地区本部内
「広報誌JAしまねびより」編集係 宛
✉メールでの投稿も大歓迎!
izumokouhou.izm@ja-shimane.gr.jp

●我が家に二人目の孫が産まれました。女の子ですがお兄ちゃんの子で産まれた時とそっくりで兄妹なんだなと可笑しく思っていました。元気にすくすくと育つてほしいです。

(神門町 K・Aさん)

JA:二人目のお孫さんのご誕生おめでとつございます!!顔の似ているかわいらしいお二人が並ぶところを想像すると、とても温かい気持ちになります♡これからもお二人が仲良く元気に成長されることを願っています😊

●今夏の猛暑にはいい加減まいりました!家の前の一反ほどの田に用水路が干上がって水が来ません!幸いにも、祖父が地下

水を庭木用にと掘っていたため、ポンプを据付、10日間主人が仮配管して凌ぎました。

(大津町 S・Kさん)

JA:今年の夏は猛暑に加え、雨がほとんど降らず…。農家の方はもちろん、多くの方が水のありがたみを実感する季節だったように感じます。人にとっても、作物にとっても欠かすことのできない水。晴れの日はまだか気分が明るくなりますが、たまには雨も願いたいものです。

●多伎のいちじくは本当に美味しいですよ。毎年楽しみにしています。これからも高品質でおいしいいちじく栽培頑張ってください。

(松寄下町 K・Tさん)

●多伎町のいちじくは、美味しいので私も大好きですが、若手の新規就農される方がおられて、産地が引き継がれていくことがよく分かりました。

(国富町 T・Yさん)

JA:いちじくが旬の季節がやってきました!私も多伎いちじくをいただく機会がありました。甘みがしっかりとつておりとても美味しかったです♡皆さんもぜひ、今が旬の多伎いちじくをご賞味ください!!

令和7年度 LPガス設備調査点検のお知らせ

平素よりJA LPガスをご利用いただき、ありがとうございます。

JAしまね出雲地区本部ガスセンターでは、4年以内に1度、法令に基づいた消費設備の点検・調査を行っております。

下記の予定で、調査の委託をしている島根県中央LPガス保安センター協同組合の職員が伺いますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

月	地区
10月	塩冶地区・高浜地区
11月	
12月	

※上記予定は進行状況等により、変更となる可能性もありますのでご了承ください。



LPガス設備調査点検とは

- ・供給設備・消費設備のガス漏れの有無などの点検を行うことです。
- ・4年以内に1回、安全のために実施することが法律で義務付けられております。尚、この点検・調査は無料です。料金が発生することはありません。

お問い合わせ先 JAしまね出雲地区本部ガスセンター TEL:0853-28-1234

クロスワードパズル

農協全国商品券も
もらっちゃおう!!



二重マスの文字をA~Dの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ

1	6		11		17	20
		C				
2			12	15		A
	7	9				
3				16	18	
		10	13			
4	8				19	21
5			14			D

答え

A	B	C	D
---	---	---	---

タテのカギ

- ①お代はいただきません
- ③転職をしたいが、いざとなると——を踏んでしまう
- ⑥金箔の生産量第1位の市がある都道府県
- ⑧皿を数えるときに使う言葉
- ⑨あえるとパスタが黒くなります
- ⑪落ち葉をかき集める道具
- ⑬ハロウィーンの日を楽しむ人もいます
- ⑮役場で——証明を取ってきた
- ⑰薪割りに使う刃物
- ⑱事件はあつけない——を迎えた
- ⑳写生をこうもいいます
- ㉑動物や鳥などの集団

ヨコのカギ

- ①10月の第2月曜日はスポーツの日。以前は——の日でした
- ②祭りのときに引く車
- ③——雨だよ、すぐに止むさ
- ④塩分濃度は低め、麴の割合は高めな味噌
- ⑤ドングリがなる木の一種
- ⑦彼女は免許——の腕前だ
- ⑩悪臭を放つことで知られる動物
- ⑫傘がたくさん重なった形の食用キノコ
- ⑭ハワイアの演奏にも使われる弦楽器
- ⑯玄関の上がり——に腰かけて話した
- ⑰秋にもおいしい紫色の野菜
- ⑱教育、勤労、納税は国民の三大——です

応募要項

応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。右記の二次元コードからもご応募いただけます。



賞品

正解者の中から抽選で30名（JAしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

宛先・締切

〒693-8585 出雲市今市町106-1
JAしまね 出雲地区本部 ふれあい福祉課 「クイズ」係
2025年10月3日（金）（当日消印有効）

先月号の答え

「ラツカセイ」

ケ	イ	ロ	ウ	シ	デ
シ	ー	ツ	シ	ロ	ミ
キ	コ	シ	ク	セ	
カ	ツ	ラ	ハ	マ	
カ	ン	キ	ク	ダ	
モ	ト	ネ	シ	ナン	
ク	ウ	ジ	ユ	ツ	ゴ

俳句の広場

最優秀賞

愛犬の背中に日傘そつとさし

出雲市 加地 良子様

優秀賞

舞ひ終へて恵比寿の面の下は汗

浜田市 三沢 孝子様

採算のとれぬぶどうの袋かけ

津和野町 田中とよし様

枇杷の実を採ってほとんどおすそわけ

松江市 横山 麻里様

佳作

ブロック屏にしがみつきたる蟬の空
帰省子の先づ故郷の水を飲む
腰据へて金魚掬ひの巧みなる
終戦日軽き思い出語る父
空つかむ入道雲の力齧

安来市 斎藤美重子様
出雲市 藤江 堯様
邑南町 山塚 豊子様
浜田市 小川美砂子様
兵庫県 小田 和子様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」10月号 定価900円
ご購入は、お近くのJAへお問合せください。



JAしまねびより、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）10月号は川柳を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX：0852-67-7708
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

JAバンクを装う偽メールに注意!!

JAバンクを装いあなたの大切な“**お金**”や“**情報**”を狙う**偽メール**が
島根県内で多数確認されています!!

手口は『**JAネットバンク**』や『**JAバンク**』など**実在する金融機関名**などを使い
あなたの**個人情報**などを不正に盗み取ります!!

⚠ 怪しいメール内容の一例

- 『**期限**』を設けている内容のメール
- 『**専用ページ**』へ誘導する内容のメール



※ 携帯電話に届いたメールの内容が少しでも怪しいと感じたら、そのメールの指示に従わずご家族や最寄りのJAにご相談ください。



©よりぞう



お問合せ先



JAネットバンク ヘルプデスク

0120-058-098

緊急時の利用停止 24時間365日

平日 9:00~21:00

土日祝 9:00~17:00



※ 個人情報等を入力してしまった場合、速やかにお取引のJA店舗またはJAネットバンク ヘルプデスクにご連絡いただき、JAネットバンクの利用を停止してください。

あれ?
こんな時に限って
お薬がない…

そんな時のために
**備えて安心。
いつでも便利。**
クミアイ家庭薬です。



協同薬品工業株式会社

〒699-0631

島根県出雲市斐川町直江3951-1

島根営業所

お問い合わせ先 平日 9時~17時

TEL (0853) 25-9166

JAしまね 事業承継セミナー

農業者にとって「誰でもいつかは事業承継」に向き合わなければならない時がやって来ます。

事業承継について、過去の失敗事例を通して譲る側、譲られる側双方が円滑に事業承継を進めていくためにやるべきこと、心構えについてわかりやすく学んでいただけます。

開催日時・会場

日時：令和7年11月27日(木) 13:00~15:30 ※途中退出可

第一部 (13:00-14:30)：講義

第二部 (14:40-15:30)：事業承継計画の策定、個別相談等

※内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

会場：下記のいずれかでお申込ください。

①メイン会場：JAしまね 本店 斐川事務所 (営農経済本店)

2階会議室 (出雲市斐川町直江5030)

②WEB会場：JAしまね 各地区本部会議室

(詳細は後日ご連絡いたします)

対象者

事業承継を考えている農業経営者、後継者および候補者の方等どなたでも参加いただけます。

参加費無料

主催

島根県農業協同組合
農林中央金庫 岡山支店



講師

- 株式会社後継者の学校代表取締役
- 中小企業診断士

大川原 基剛 氏



■参加申込に関するお問い合わせ先■

島根県農業協同組合 営農対策部 営農企画課

TEL：0853-25-8142 FAX：0853-25-8594

E-mail：ei-kikaku.hon@ja-shimane.gr.jp

提出いただいた個人情報は、当セミナーに必要な範囲でのみ使用いたします。



玄米保冷库

業務用冷蔵庫の
トップメーカー **ホシザキ**

ロングラン
5年保証

信頼の
日本製

ご不要な玄米保冷库 米保管庫 **無料引取り**

玄米保冷库本体とスチール棚

玄米保冷库本体 同時にご購入の方に限り
ご不要になった同等サイズの玄米保冷库または米保管庫を1台無料で引取り処分致します。

ご希望の方は、玄米保冷库・スチール棚の申込番号に加えて**無料引取り申込番号27018**もあわせてご注文ください。

くわしくは通話料無料 ☎0120-889-147 までお問合せください

※ご購入1台につき無料引取りは1台限りなお届け当日のお申込は不可。
※解体作業をともなうパネル型やフラット型は引取り対象外となります。

省エネ
消費電力
約**40%削減!**

kakasi.com
ホームページ
さらに詳しく!
スマホでアクセス



スチール棚は別売です

6袋タイプ 送料・設置費込みの標準仕様 安心価格
183,900円

10袋タイプ 送料・設置費込みの標準仕様 安心価格
204,900円

14袋タイプ 送料・設置費込みの標準仕様 安心価格
209,900円

別売 保冷库用スチール棚 ITC23 (ホシザキ用)

申込番号	送料込/税込価格
27003	10,990円
27006	13,490円
27006	13,490円

かかしさんオリジナル
中国製



高さ調節19cm間隔 (6袋のみ10cm間隔)

1枚当り 6袋/約50kg
耐荷重 10・14袋/約30kg

サイズ 6袋/約49.2×59cm
10・14袋/約77.5×59cm

玄米保冷库	■価格表		申込番号	設置込み送料込/税込価格	(外寸/約cm)幅×奥行×高さ (内寸/約cm)幅×奥行×高さ	重量(約)	定格消費電力(50/60Hz)	電気代目安 1ヶ月当り(年周平均値) (50/60Hz)
	標準仕様	高性能40C仕様						
ホシザキ製 HZ25	6袋 (3俵)	標準仕様	27001	183,900円	60 × 78.1 × 163	54kg	150/160W	380円/369円
		高性能40C仕様	27002	208,900円	50 × 67 × 120	57kg	165/180W	332円/328円
	10袋 (5俵)	標準仕様	27004	204,900円	85 × 78.3 × 148.1	60kg	150/160W	391円/391円
		高性能40C仕様	27005	229,900円	77 × 67 × 104	63kg	165/185W	339円/347円
	14袋 (7俵)	標準仕様	27007	209,900円	85 × 78.3 × 184.1	70kg	150/165W	391円/391円
		高性能40C仕様	27008	234,900円	77 × 67 × 140	73kg	170/185W	339円/347円

●外気温が低い場合は設定温度以下になり、運転を自動で停止します。●家庭用冷蔵庫より動作音が響く場合があります。
●電気代はあくまで目安です、使用状況によって異なる場合がございます。(1kWh当り27円/玄米モード運転で計算) ●米袋のタイプによっては収納しにくい場合がありますので、米袋のサイズと保冷库内寸を事前にご確認ください。●設置場所には米袋を含め数百kg以上の荷重がかかります。しっかりした床に設置してください。

ラピタ本店 生活課 ☎0853-21-6083

営業時間変更のお知らせ

棚卸しの為

ラピタ全店

9月30日(火)は

午後7時閉店

とさせて
頂きます

星空ガーデンに持込をされる方は午後7時までにお買物をお済ませください

マツモトキヨシ
ラピたはまやま店 9月30日(火)休店 とさせて頂きます



いずも 縁結び PAY

9月1日(月)から
ご利用頂けます

ラピタ本店

- ・食品レジ・サービスカウンター
- ・ベスト電器・書店・レストラン

ラピタ各店

- ・食品レジ

ラピタテナント

- ・須藤ランドリー
(本店・はまやま店・みなみ店)
- ・やなぎや・フランス屋・TOPICS
- ・フードホール
(うさぎの杜、おむらいす亭、十鉄)



lapita beer garden

バーベキュー
ビアガーデン

ラピタ屋上 星空ガーデン2025

4/25(金) ▶ 11/3(祝) 17:30 ▶ 21:00
ラピタ本店 屋上

(ラストオーダー/食べ物 20:30 飲み物 20:45)
お席は、テント席、座敷席、アウトドア席、オープン席より選べます。
雨天の場合はテント席のみご利用が可能です。



地域とともに
ラピタ
組合員の皆様へ

平日が
お得!!

月曜～木曜限定! (祝日を
除く)

**出雲産農産物(ふぞろい野菜)の
無料食べ放題!**

毎月その時旬の農産物を食べ放題で提供いたします(アスパラガス・椎茸等)
※どの農産物が食べ放題になっているかはホームページでご確認ください。

全てのプランに、ご飯・ソフトドリンク飲み放題付! ※各種プランは1人前料金です。

【バーベキュープラン】		【キッズプラン(小学生以下)】	
予約あり	3,000円 <small>(税込)</small>	予約あり	1,700円 <small>(税込)</small>
予約なし	3,500円 <small>(税込)</small>	予約なし	2,000円 <small>(税込)</small>

【アルコール飲料
飲み放題】
お一人さま
+ 2,000円(税込)

予約はこちらから

予約割引あり!
24時間自動受付

インターネットでの予約は「ぐるなび」から ▶

検索はこちら ▶ |



お電話での予約・お問い合わせ先

Tel.050-5486-3296

9:00～17:00 受付

※17時以降は、お電話での予約・お問い合わせはできません。

Instagramも
チェック!



LAPITABERGARDEN

島根うまれの食材レシピしまねっレシピ

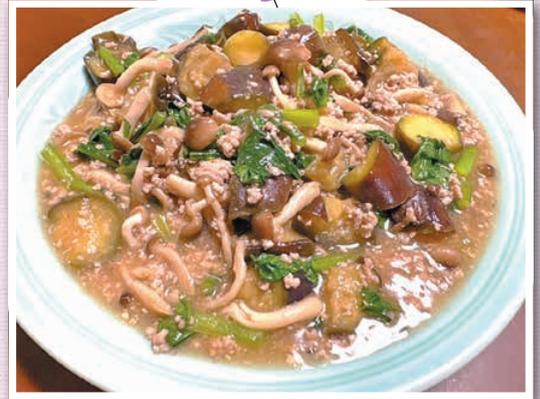
なすと豚肉の甘辛みそ炒め

材料（4人分）

豚ミンチ……………200g
 なす……………3本（450g）
 しめじ……………1袋
 小松菜……………1/2束（100g）
 ごま油……………大さじ2
 A 焼肉のたれ……………大さじ3
 みそ……………大さじ1
 片栗粉……………大さじ1強
 水……………200cc

作り方

- ①なすは一口大に切り、水につけて水気をきる。
- ②しめじは石づきを取って、小房に分ける。
- ③小松菜は長さ2～3cmに切る。
- ④フライパンにごま油を入れ、①のなすを加え、表面に油を絡めてからフライパンを強火で熱し、パチパチ音がしてきたらしめじも加えて炒めて火を通し、一度取り出しておく。
- ⑤同じフライパンに豚肉を入れて色が変わるまで中火で炒める。
- ⑥④のなすとしめじ、小松菜を加えて炒め、小松菜がしんなりしたら、混ぜ合わせたAを加えてとろみがつくまで炒め合わせる。



アレンジ

・豆板醤やラー油を加えてピリ辛味の大人味に！
 ・なすだけでなく、もやしやにんじん、キャベツ、しいたけなどさまざまな野菜やキノコを組み合わせてもOK！

しゃぶしゃぶサラダ

材料（4人分）

豚しゃぶ用薄切り肉…150g
 酒……………大さじ2
 塩……………小さじ1
 きゅうり……………1本（120g）
 トマト……………1個（180g）
 レタス……………1袋（100g）
 粒コーン……………大さじ2
 A すし酢……………大さじ3
 薄口しょうゆ……………小さじ2
 オリーブ油……………大さじ1.5

作り方

- ①鍋に水1リットルと塩を入れ、沸騰させる。
- ②ゆでる直前に酒を加え、肉を4～5枚ずつ鍋に入れてほぐすようにして火を通し、色が変わったらざるに取る。残りも同様に火を通す。
- ③ボウルにAを混ぜ合わせ、そこにきゅうりをスライスして加えてひと混ぜし、しばらく置く。（10分間くらい）
- ④ボウルに②の豚肉を加え、しっかり混ぜ合わせる。
- ⑤トマトを一口大に切り、④のボウルに入れひと混ぜする。
- ⑥皿にレタスをちぎって広げ置き、その上に混ぜ合わせた⑤を盛る。
- ⑦最後に粒コーンを飾る。



アレンジ

・ゆでた鍋のアクを取り、たまねぎ、じゃがいもなど野菜を切っただけで、塩と薄口しょうゆで調味すればスープに！
 ・サラダに加える野菜は、たまねぎ、ズッキーニ、かいわれ、水菜、ブロッコリーなど何でもOK！

コメント

・きゅうりを入れてしばらく置くことで、野菜の旨味を含んだドレッシングが出来上がります。
 ・しゃぶしゃぶの水につけて冷やすと水っぽくなるので時間があればざるにあげ、そのまま冷ますと良いです。

JA 島根厚生連

健康散歩

生活活動に一工夫を

日常生活でどのくらい動いていますか。一言で「動く（活動する）」と言っても、「スポーツで体を動かしている」という方もいれば、「仕事では体を動かすが、運動は全くしない」という方、「机に座っていることがほとんどで、日中は全く動かない」という方など、活動量は人それぞれだと思います。厚生労働省がまとめた「健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023」では、安静にしている状態よりも多くのエネルギーを消費する動作を「身体活動」と定義しています。また、身体活動は日常生活における労働や家事などの「生活活動」と、健康や体力の維持・向上を目的として、意図的に実施するスポーツなどの「運動」の2つに分けられています。

身体活動量が多い人は少ない人と比べて、心疾患、高血圧、2型糖尿病、肥満、がん、認知症などの発症リスクが低いことが報告されています。また、身体活動によって、うつや不安の症状が軽減され、メンタルヘルスや生活の質が改善するという報告もあります。しかし、近年は身体活動量が低下傾向にあります。要因として、「機械化・自動化の進展や新型コロナウイルス感染症の感染拡大により働き方や生活環境が大きく変化し、移動・歩行機会が減少したこと」などがあげ

られます。ただ、既に述べたように身体活動により疾病の発症リスク低減などのメリットが得られるため、日常の中で身体活動量を増えるような取り組みを行うことが重要です。

身体活動量を増やす際に基本となる考えは「座りすぎを避け、じっとしている時間が長くなりすぎないようにし、今より少しでも体を動かすようにする」です。しかし、実際には運動する時間を取れないという方も多いです。そのため、運動だけでなく、早く歩く、階段を上るといった動作や家事なども「生活活動」として身体活動に分類されるため、この生活活動をうまく増やすことがポイントです。例えば、テレビやスマホなどを見て座りっぱなしになるのではなく、時々立ち上がって体を動かしましょう。お出かけの際は徒歩や自転車移動してみたり、普段とは違う道を使って移動時間を増やしたりすることも良いでしょう。

無理をしても長続きはしません。無理のない範囲で少しずつ積み重ねることが長続きの秘訣です。健康で豊かな生活を続けるために、身体活動量を今より少しでも増やせるように取り組んでみませんか。



【編集後記】編集後記を書いている8月下旬。運転中に外を見ると稲刈りが始まっている田んぼがちらほらあり収穫時期の到来を感じています。今年は猛暑や渇水と人にも作物にも厳しい天候でしたが、そんな環境を耐え抜いたお米はとっても美味しいこと間違いなし！農家さんの徹底した管理のおかげで今年も食卓に届くお米、今度は私たち消費者が食べて応援したいですね😊（古）

